



# 開発プロジェクト財務・経済分析 ワークショップ

【手で考えよう！頭と手で学ぶ財務・経済内部収益率（F/EIRR）分析ガイド-基礎・実務編】

## 概要

途上国への開発協力案件の投資妥当性分析（Project Analysis/ Feasibility Study）は、公的資金による「資金・人材・技術など限りある資源（希少資源）の投入（費用）に見合う結果（便益）がどの程度得られるか？」という定量的な問題に答えるための考え方（分析枠組み）と手法です。

この研修では 3 日間にわたり、投入資金（費用）が生み出す財務経済便益を推定し、内部収益率（IRR）を指標として当該案件が公的資金を使って実施されるべきかの判断およびリスク分析を行うための基礎的な考え方・背景となるミクロ経済学モデル・分析手順をしっかりと学習します。更に、この理論編を補完する形で財務・経済便益計算の実務をわかりやすく（市場取引財・有形便益）、かつ応用範囲が広い輸出加工区・灌漑プロジェクトの 2 件を取り上げ、参加者自身が頭と手（EXCEL）を使って理論と実践を確認・実感しつつ今後の業務での具体的応用を可能にすることを目的としています。

また、上記プロジェクト分析の基礎的理解を踏まえ、民間資本参加を前提とする官民協調（PPP）案件の財務分析手法、今回の基礎編研修でも触れる環境・教育案件等の非貿易財サービス・無形経済便益の推定手法である「支払い意志額（WTP）」、更にプロジェクトの経済波及効果を定量的に推定する「投入産出分析」の基礎を、受講者の御希望ある場合に時間が許す範囲で学びます。

## 目標

- 1) 貧困削減・「公共支出管理」等の新しい援助政策課題・援助様式を視野に、開発支援プロジェクトの財務・経済分析の考え方・手順を平易な言葉を通じて理解する。
- 2) EXCEL を用いた IRR 分析を実体験することで、事例研修の灌漑以外の諸分野にも応用できる「開発プロジェクトの財務・経済的 IRR 分析」の基本を学び、自ら現場で使えるようになる。
- 3) 次いで、開発プロジェクトの財務分析（FIRR 分析）だけでなく、PPP 事業の財務分析手法（Equity IRR 分析）を学習し、その違いを理解しつつ実務への応用が可能な手法を体得する。
- 4) 財務・経済分析について理論・実務演習・グループ作業を通じて理解し、財務・経済専門外の人に正しく審査・技術協力案件監理における IRR 分析・PPP 財務分析について説明できるようになる。
- 5) 世界銀行・アジア開発銀行等の援助案件と協調融資も視野に、グローバル・スタンダードの財務・経済分析のテクニックを身につけ、英語での議論や報告書がより洗練される。

## 開催概要

日時：2017 年 8 月 2 日（水） 10：00～17：30  
8 月 3 日（木） 10：00～16：00  
8 月 4 日（金） 10：00～17：30 【3 日間：合計 18 時間】

場所：ECFA 会議室（東京都港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F）

対象：コンサルティング企業（ECFA 会員企業および非会員企業等）並びに途上国開発に係る公的・関連機関・民間企業・研究機関・その他で F/S に興味があり、特に財務経済分析を基礎から理解し活用したい、あるいは今後チャレンジしてみようという方で全日程参加可能な方。なお、エクセル操作・関数に馴れていない方、苦手な方はある程度の事前習得が望まれます。

定員：12 名

※定員を越えた際は、会員企業の参加希望者を優先させていただきます。

受講料： <ECFA 会員> 45,000 円 <一般> 80,000 円 ※研修費・教材費・消費税込

## カリキュラム

ワークショップは講師の用意したパワーポイントに沿って行われます。また講義、事例紹介のほか、エクセルを使ってわかりやすく、かつ自分が納得するIRR分析演習を行い、参加者全員参加による相互意見交換・協議ができるワークショップを目指します。全日程出席された方には、ECFAより修了証が授与されます。

※2日目は自習時間として、講座は早めに終了致します。

	時間	セッション	概要
1日目	9:50-10:00	受付	
	10:00-17:30	<b>&lt;第1セッション&gt;</b> ・新しい援助潮流とF/S ・費用便益分析の枠組みと応用	① 開発支援案件とF/Sの目的・考え方 ② 「公共支出管理」の枠組みとF/S ③ プロジェクトの財務・経済分析 ④ IRR分析の考え方-「3大原則」の考え方
		<b>&lt;第2セッション&gt;</b> ・内部収益率（IRR）分析 ・長期限界費用（LRMC）法 ・演習（1）- 1：イントロ編（輸出加工区）の準備	① 財務内部収益率（FIRR）分析の枠組みと手順 ② 経済内部収益率（EIRR）分析の枠組みと手順 ③ 事例紹介・分析モデルの構築・IRR分析
2日目	10:00-16:00	<b>&lt;第3セッション&gt;</b> ・演習（1）-2：財務分析・経済分析 ・感度分析	① 輸出加工区案件のIRR分析 ② 感度分析（2変数シミュレーション） ③ 質疑応答・参加者による意見交換
		<b>&lt;第4セッション&gt;</b> ・演習（2）-1：発展編（灌漑・建設中便益発生事例） ・自宅演習	① 分析モデルの構築・FIRR推定の実践 ② 感度分析手法の考え方と手順 ③ 質疑応答・参加者による意見交換
3日目	10:00-17:15	<b>&lt;第5セッション&gt;</b> ・演習（2）-2：IRR分析と演習の総括	① 演習事例のEIRR分析・感度分析 ② セクター別経済便益の考え方 ③ 参加者による演習結果の発表・質疑応答
		<b>&lt;第6セッション&gt; 総括的復習、及び補論（時間的な余裕がある場合のみ）</b> ・財務返済計画・プロジェクト会計分析を含むPPP財務分析、支払い意思額（無形便益・環境・保健医療・基礎教育等の推定、長期限界費用法（低いIRRの考え方）、地域・国民経済への波及効果推定の為の投入産出分析手法など、受講者の要望・時間的余裕がある場合にこれら中級編で取り扱う内容に触れます。	
	17:15-17:30	アンケート記入 修了証授与及び閉講あいさつ	

※プログラムはやむを得ない事情等により変更することがあります。また、進捗状況により、研修時間が多少前後する可能性もあります。予めご了承ください。

※昼休憩は1時間、その他の休憩は90分に1回を目処に取らせていただきます。

※昼食時に食事をしながら、講師・参加者の方々による質問・意見交換なども歓迎します。

※長時間の研修となりますので、リラックスした服装でお越し下さい。

※演習の効率性から、2日目の座学は早めに終了します。参加者の方々からは自宅等で、復習しつつ演習（2）-2の課題を進めて下さい。

※受講者の方には、事前に教科書及び灌漑事例演習テキストを配布します。研修前にできるだけ御一読下さい。

※受講者の方には、後日フォローアップのアンケートを行わせていただくことがございます。ご協力をお願いいたします。

## 講師紹介

### （有）コンサルティングハウス ミネルヴァのふくろう 代表 尾崎 隆夫

一橋大学経済学部・ボストン大学経済学研究科・東京大学医学系研究科博士課程修了、学位申請資格

1978-84年 （社）海外コンサルティング企業協会（ECFA）勤務

1984-89年 中小企業事業団・海外経済協力基金（OECF）出向

1989-93年 アジア開発銀行勤務（エネルギー・鉱工業局長室エコノミスト）

1993-現在 （有）コンサルティングハウス ミネルヴァのふくろう（代表）

専門はマクロ経済・公共財政管理・プロジェクト分析など。これまで、国際協力銀行、国際協力機構、アジア開発銀行などのプログラム・プロジェクトの財務・経済分析に関する融資・コンサルティング業務およびJICA研修・大学等で講師を多数経験している。



## 研修の様子

研修は、F/S 概論等の講義とエクセルを利用した演習で構成されています。少人数クラスで、受講者それぞれのレベルに合わせたきめ細かな演習・指導を行います。（補講も実施したことがあります。）講師や受講者同士で、実務や具体的事例での経験について情報交換なども活発に行われており、今後の業務にすぐに役立つ研修です。



講義を聴く受講者



質問に答える尾崎氏

- FIRR と EIRR との違いと関係、算出方法及び、評価方法について演習を通して理解できました。自分で実践するためには非常に役立ちます。
- FIRR 分析、EIRR 分析について、具体的に手を動かすことによって実際のイメージがつかめました。
- 日数も適しており、入門編としては、とても良い機会だと思います。ODA プロジェクトに係わる若手技術者は是非受講したほうが良いと思います。
- 講師の豊富な経験から丁寧な説明でよく理解できました。ありがとうございました。  
※過去の受講者アンケートより抜粋しました。

## お申込み方法

受講申込用紙 (<http://www.ecfa.or.jp/japanese/hrd/index.htm>) に必要事項をご記入の上、Eメール(kono@ecfa.or.jp)にて締切日までにお申込み下さい。なお、本研修は、講師の急な予定変更などにより中止をせざるを得ない状況が生じた場合、実施予定人数に満たない場合は、開催を中止させていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせし、受講料はお返し致します。

### お問合せ・お申込先

一般社団法人海外コンサルタンツ協会 担当：河野こうの  
TEL：03-3593-1171 E-mail：[kono@ecfa.or.jp](mailto:kono@ecfa.or.jp)

**締切：2017年7月24日（月） 17:00**

※受講の可否についてはお申込み締切後、応募者全員にEメールにて連絡いたします。

※受講決定者には請求書を送付致します。受講料は、請求書に記載の期日までに銀行振込にてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金いたしかねますので、ご了承ください。

※1社より複数お申込み頂く場合には、社内にてお取り纏めの上、受講優先順位をつけて下さい。

**※定員を上回った場合は締切日より早く受付を終了する場合がございますので、お早目にご応募お願いいたします。**

※個人情報の取り扱いについて

提出いただいた「申込書兼履歴書」の個人情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理致します。